

12月20日(日曜日)「大胆に恵みの御座に」

【新改訳 2017】

ヘブル 4・14-16

「ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵をいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。」(16節)

なんという慰め、何という励ましでしょう。キリストにあって神が与えてくださる恵みは、一見、抽象的に思われるものもたくさんありますが、それだけではなく、極めて現実的な恵みもたくさんあります。私たちは、自分のほうから心がけて主に信頼し、祈り求めるならば、「おりにかなった助けを受ける」ことができるのです。

冒頭の「ですから」は、主が偉大な大祭司、神の子でいらっしゃる(14節)と、私たちの弱さに同情できる方である(15節)からということです。ですから、心配や遠慮をしないで、大胆に、どんなことでも御前に祈りなさいと勧めているのです。

「祈り」の座は、「恵み」の座なのです。筆者も、小さな信仰でしたが、数えきれないほどの恵みをいただいて四十数年にな

ります。

～祈り～

主よ。あなたのあわれみと恵みを、おりにかなっていただけることを感謝いたします。どうか臆することなく、恵みの御座に近づける者としてください。

【学びのために】

ヤコブ 4 :8、伝道者の書 3:11a など参照。